

E 小学校 D 段階の取組に関する資料

重点単元カリマネシート (前期)

第5学年1組 算数科 単元「 小数÷小数 」		指導者
工夫1 「教材の工夫」	P	○全体の中での余りの大きさをつかんで、答えの根拠を示すことができるように、「線分図を使って、正しい余りはいくつなのか確かめましょう。」と発問する。
	D	※実践を通して行ったことやその時の児童の反応を記入する
	C	※具体的な指導方法が有効であったかどうかを記入する 児童の反応・アンケート・テストなど
	A	※本単元をもとにわかったことを次の実践及び単元に生かすための改善点を記入する
工夫2 「数学的表現」	P	○線分図をかいて、全体の中での余りの大きさがどれくらいになるかをつかませる。 ○筆算から小数点の位置が割られる数の小数点の位置が同じであることに気づかせる。
	D	※実践を通して行ったことやその時の児童の反応を記入する
	C	※具体的な指導方法が有効であったかどうかを記入する 児童の反応・アンケート・テストなど
	A	※本単元をもとにわかったことを次の実践及び単元に生かすための改善点を記入する
工夫3 「交流の工夫」	P	○高め交流では、線分図を使って余りの大きさを確かめさせる。
	D	※実践を通して行ったことやその時の児童の反応を記入する
	C	※具体的な指導方法が有効であったかどうかを記入する 児童の反応・アンケート・テストなど
	A	※本単元をもとにわかったことを次の実践及び単元に生かすための改善点を記入する